

令和 7 年

雲南市議会 3 月定例会 一般質問通告一覧表

【一般質問日程 令和 7 年 3 月 4 日～3 月 7 日】

令和 7 年雲南市議会 3 月定例会 一般質問通告一覧表 目次

順番	日程	議席番号／氏名	質問方式	ページ	順番	日程	議員番号／氏名	質問方式	ページ
1	3/4(火) 会派代表質問 終了後	6／廣野 祐二	一問一答	1～7	10	3/6(木) 9 時 30 分～	4／福間 守	一問一答	24～24
					11		1／竹部 貴博	一問一答	24～27
2	3/4(火) 13 時 00 分～	17／佐藤 隆司	一問一答	7～9	12	3/6(木) 13 時 00 分～	13／上代 和美	一問一答	27～29
3		10／多賀 法華	一問一答	9～13	13		9／高橋美佐子	一問一答	29～30
4		5／石原 忍	一問一答	13～15	14		7／渡辺 重光	一問一答	30～31
5	3/5(水) 9 時 30 分～	2／原 良太	一問一答	15～17	15	3/7 (金) 9 時 30 分～	15／中村 辰眞	一問一答	32～34
6		14／中林 孝	一問一答	17～17					
7	3/5(水) 13 時 00 分～	12／梶谷 佳平	一問一答	18～19					
8		3／吾郷 希穂	一問一答	19～21					
9		11／安田 栄太	一問一答	21～24					

令和 7 年雲南市議会 3 月定例会 一般質問通告一覧表

令和 7 年 2 月 25 日

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
1	6	廣野 祐二 (一問一答)	1. 農業政策について	2024 年から 2025 年にかけて、「令和の米騒動」が起こった。この要因は、2021 年以降の行き過ぎた生産調整と、米価下落による生産意欲の減退、猛暑、カメムシ被害等による収穫量の減少や一等米比率の低下と、諸物価高騰による米の割安感、新型コロナウイルスで落ち込んでいた需要の回復、訪日外国人の増加等による米の消費拡大等が考えられている。これにより、米価は上昇し、2024 年産米の相対取引価格は、年産平均(9～12 月)60Kg 当たり 2 万 3715 円となり過去最高を記録した。 雲南市においても、収量の減少や一等米比率の減少等、同様の傾向があり、米価上昇にかかわらず、農家の生産意欲は、あまり高まっていないように感じる。特に、雲南市の一等米比率については、平均 63%前後で大変低く、特に、吉田、掛合地区以外のコシヒカリの一等米比率は、19～30%台となっており、危機的な状況と考える。 (1)市としては、現在の特に米農家の現状をどうとらえ、どのような支援、政策を考えているかを伺う。 (2)地球温暖化の傾向が続く中、稲の品種の選択は重要で、地域や気候に合った品種を選択するよう指導を行うべきだと思うが、考えを伺う。 (3)農林水産省の調査によると、2023 年産の米の生産費は、60Kg 当たり個別経営体が 1 万 5948 円、組織法人経営体が、1 万 1841 円となっている。又、作付面積が 3 ㌧未満では、1 万 7000 円を超え、1 ㌧未満では、2 万円を超えている。一方、15 ㌧以上では、1 万 1000	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				円台に収まっている。このことから、稲作を中心とした農業を推進するためには、できれば、15 歳以上の経営体の育成と集約化への政策誘導が喫緊の課題と思うが、考えを伺う。 (4) 耕作放棄地が増加しており、そこへの不法投棄、さらには、下流域の水の枯渇問題等が発生している。これらの対策について考えを伺う。 (5) 農業の世界でも、後継者問題が喫緊の課題となっている。あと 5 年から 10 年もすれば、大変な事態になる。この問題の解決には、もうける農業を推進しなければならないと考える。大規模化だけが儲かる農業ではなく、様々な工夫によって、規模が小さくてもそれはできると思うが、市としての考えを伺う。 (6) 今後数年間、いわゆる団塊の世代が、70 歳から 80 歳となり、市内人口の内、最も大きな割合を占める。幸い、市には、多くの農地があり、高齢者でも畑作等、できる範囲での労働が可能である。このことは、介護予防にも良い影響をもたらすものと考えており、漬物等の製造も含め、寄り添った支援が必要と考えるが、市の方針を伺う。 (7) 現在の雲南市の重要な遺産には、稲作を中心とした農業文化遺産と、たたら製鉄に象徴される工業文化遺産がある。このことから、雲南地域は、農業や工業に適した地域であることがうかがえる。将来に向かって、人口減少もあり、最も基本的な産業である農業の担い手を確保するため、特に小中学生への食農教育が必要だと思うが、考えを伺う。	
			2. 鳥獣対策について	(1) 前回の一般質問で、鳥獣対策について、研修会や出前講座、啓発	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				多数いると認識している。これらの事業者に対して、雲南市として、どのような支援を考えているか伺う。 (2)様々な理由により、高水準の、特に、中小・零細企業の倒産件数が増加しており、また、大廃業時代の到来も叫ばれている。これまで、事業承継は、同族承継が基本と考えられていたが、少子化の進展と、価値観の多様化等により、それが困難な時代となっている。地域経済を担っているのは、まずは、中小・零細企業であり、その事業承継には、同族承継も含め、内部昇格、外部招聘、M&A 等様々な方法があることを、広く事業者理解してもらい推進すべきだと思う。事実、調査によると、2024 年の事業承継は、内部承継が、同族承継を上回り、外部招聘や M&A 等が増加傾向にある。この、事業承継について、相談を受けるだけではなく、より踏み込んだ支援が必要だと思うが、考えを伺う。 (3)様々な課題が噴出している時代は、その課題を解決するために右往左往する傾向がある。しかし、私は、これは、まさに時代の変革期であり、チャンスが到来しているものと思っている。第 3 次雲南市総合計画では、「挑戦し活力を産みだすまち」との記述があり、新規企業支援を謳っている。この支援は、補助金をとるための支援ではなく、真に自立し、発展してゆくための支援が必要と考える。このことについて、市としての考え方を伺う。 (4)人口減少社会に入って、労働力不足は深刻である。特に、地域を支える、いわゆるエッセンシャルワーカーの不足は、特に深刻で、これらの分野では、デジタル化や DX 化で対応できない分野も多く、これらを解決するためには、障がい者雇用や、外国人労働者雇用の	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			4. 空き家対策について	推進が必要である。雲南市における現在の、障がい者雇用と外国人労働者雇用の実態と、今後の方向性について考えを伺う。 (1) 空き家対策については、空き家発生の予防と、発生した場合の対策が重要である。市としては、空き家発生予防対策として、どのような施策を行い、または、今後検討しているかを伺う。 (2) 実際に空き家に対する対応として、住宅除却後の固定資産税の一定期間の減免措置は、理解できる。しかし、現在、1600 戸以上ある空き家の解消も大きな課題であり、空き家の片づけ、リフォーム、除却等の施策、政策誘導が重要と考える。国、県、または、民間事業者との連携が必要と考える。全国では、空き家率が 2018 年比で改善している自治体が、かなり出てきている。先進事例を研究し、雲南市にあった対策を打って、空き家率又は空き家総数の減少等の目標設定をすべきと思うが、市としての見解を伺う。	
			5. 自然保護、文化財保護と観光振興について	(1) 前回の一般質問で行った、コウノトリの件で、今年も 2 月 15 日現在、3 組のカップルが誕生しそうである。幸せを運ぶコウノトリを雲南市としてもシンボリックに、又、第 3 次雲南市総合計画にも取り上げられており、しっかりと支援をしてゆかなければならないと思う。コウノトリが飛来して 8 年が経過しようとしている現在、その見守り活動、保護活動等が行われているが、そろそろ自立した活動が必要な時期に来ているのではないかと思っている。1 地域の問題ではなく、全市的、または、もっと広い範囲での活動になるよう、NPO 法人の設立も含めて検討し、支援が必要ではないかと思う。また、今後もさらに、新たな繁殖の可能性もあることから、計画的に、民有地等への巣塔の設置、ビオトープ等の設置が必要と考える	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			6. 主要県道安来・木次線の改良について	が、市としての見解を伺う。 (2) 今回の、第3次雲南市総合計画にも、コウノトリをシンボリックに取り上げられていること、ほぼ定着することが見込まれること、市民の理解も醸成されてきたこと等から、コウノトリを市の鳥として制定することを提案したいが、見解を伺う。 (3) JR 西日本の「トワイライトエクスプレス瑞風」の雲南市への立ち寄り観光において、「菅谷たたら山内」「田部家邸内、土蔵群」「食の杜 かやぶきの家(昼食)」「神楽の宿(出雲神楽鑑賞)」が指定され、年間30回程度の来客がある。この重要な立ち寄り地においていくつかの課題が持ち上がっている。 ①「トワイライトエクスプレス瑞風」観光の年間の経済効果はいくらか伺う。 ②国指定の重要有形民俗文化財である「菅谷たたら山内」の桂の木の樹勢の衰えがある。早急に樹医の診断と対策を行わなければならないと思うが如何か。 ③「食の杜 かやぶきの家」「神楽の宿」のかやぶきの劣化が著しい。財政の厳しい中ではあるため、民間と協力して、民間のクラウドファンディングによる資金集めを検討したらどうかと思うが、見解を伺う。 (1) 主要県道安来・木次線の真金工区は、2015年度から始まり10年が経過しようとしている。完成も間近と思われるが、真野谷地区がいまだに未着工である。市内の生活道路としての役割、主要な工業地帯である、出雲市、安来市と雲南市が結ばれることの経済効果、「鉄の道文化圏」の観光資源としての更なる深化、島根原発での事	

[illegible]

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 官民連携の新たな枠組みによるハイブリッドダムから次への展開について	の改修についても慎重にすべきではないか。 (1) 尾原ダムは、平成 22 年 11 月 15 日試験湛水が開始されたが、平成 23 年にダム本堤脇より湧水が発生し、2 度目の試験湛水が実施され平成 24 年(2012 年)に竣工となった。 完成後、「尾原ダム水源地域ビジョン」により地域周辺の活性化策に取り組まれてきたが、第 1 期を振り返り第 2 期ビジョンのポイントは。 (2) 船通山を源に、支川を集めながら山間部を抜け、下流に広がる出雲平野から宍道湖、大橋川、中海、境水道を経て日本海に注ぐ 1 級河川で斐伊川流域圏であり、歴史(神話とロマン)と共に脈々と流れてつながってきている。その長い歴史の中で生きるための根源である水源を活用し再生可能なエネルギーが確保できることは、洪水調節である治水や上水道の供給、既設農業用水路への安定した用水供給の目的に加え、まさに多目的ダムとしての位置づけを広くアピールするタイミングだ。 ①完成後 13 年が経過した尾原ダムへのハイブリッドダム計画の概要は。 ②雲南市や周辺地域にどのようなメリットが期待できるのか。 (3) 中海・宍道湖・大山圏域の市長会(だんだんサミット)が組織され活動展開がされている。4 年前(令和 3 年)「同会結成から 10 年を迎えることを機に、圏域の目指す将来像を示した振興ビジョンを改訂する」との報道があった。 ①雲南圏域も改訂に合わせ新規加入の絶好のチャンスであったが経緯と状況は。	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				②全国ブロックで中国地方の人口割合は 6%程度で、全国から比較してもあらゆる面で劣っている。島根県東部と鳥取県西部ではなおさらであり、雲南圏域を含めた広域圏構想で地域発展を論ずるべきだと思うが。 ③観光戦略として広域観光とインバウンドの推進は、北の玄関口として海路のクルーズ船の境港、南の玄関口の空路の広島空港からの外国人観光客の誘致戦略が考えられ、だんだんサミットへの加入は必要不可欠と考えるが今後の取り組みは。	
3	10	多賀 法華 (一問一答)	1. 永井隆博士生い立ちの家について	永井隆博士生い立ちの家は、令和元年 9 月定例会で、永井隆博士が幼少期を過ごされた生い立ちの家を保存し、その遺徳を顕彰するとともにこれを一般の利用に供するために、永井隆博士生い立ちの家の管理に関して必要な事項を定めることを目的として条例が制定された。それまで普通財産でしかなかった生い立ちの家を、改めて条例制定をし、行政財産として位置づけをし、文化財としてより適切に保護及び維持管理を行っていくという姿勢を明確にするというものである。その後、令和 2 年 3 月定例会で、生い立ちの家について、家屋内の天井や壁の毀損箇所の修繕、見学者のためのトイレの設置、カヤぶき屋根のふきかえなどを計画しており、取り組んでいきたいと教育長の答弁があった。 (1)見学者のためのトイレの設置について、これまでどのように検討されたか、また今後どのようにすすめていくのか。併せて、電気、水道整備についての検討についても伺う。 (2)生い立ちの家の右側の納屋の 2 階の窓ガラスが危なく、もうすでに落ちてしまっている部分もある。応急処置はしてあるが、外部か	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 訪問介護について	ら訪問もあるのに、見た目が悪い。平和への願いの交流をする施設としても活用しているのに、そういった施設の扱いがぞんざいだと、市の「平和を」の思いもそんなものかと思われかねない。早めに修繕する必要があると思うがいかがか。 (3)雲見の里いいしでは、永井隆博士おいたちの地へのご案内ということで、永井隆記念館、生い立ちの家、旧飯石小学校の「いいし へいわの里」への周遊コースができています。世界恒久平和の実現に向け、外国からの観光客の方にも来てもらえるよう取り組むべき。雲南市演劇によるまちづくりプロジェクト実行委員会が作成した永井隆物語、英語字幕付きの YouTube もできています。観光振興課や観光協会とも連携し、平和へのインバウンド観光を実施すべきと考えるが、いかがか。 昨年の 6 月定例会で、訪問介護の基本報酬の引き下げについて陳情があり、議会から国へ、訪問介護サービス基本報酬の見直しと訪問介護の特定地域加算の対象地域及び事業所要件の見直しを求める意見書を提出した。国会でも、訪問介護事業者に対する緊急の支援に関する法律案が、衆議院で審議中である。この訪問介護の基本報酬引き下げに対し、新潟県村上市は、国の基本報酬改定が決まった時点で、市長自らが市内事業所のことを心配し、担当課へ話があり、訪問介護事業所へ照会をしたとのこと。現場の声を聞き、令和 5 年度と令和 6 年度の差額を支給する「訪問介護事業所支援金」と、燃料費を支援する「訪問介護事業所燃料費支援金」の 2 つの支援内容で、「訪問介護事業所に対する支援金」がつくられた。村上市は人口約 53, 000 人の自治体で、訪問介護事業所は現在 16 事業所。財源	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 子育て支援について	は、介護保険の基金を充てたということで、国の動きがなければ、次の介護報酬改定まで、3年間支援するというものである。 (1)市は、保険者が雲南広域連合ということで、介護保険事業のことになると消極的になっているように感じる。訪問介護は、地域包括ケアの要で、住み慣れた家で自分らしく最期まで暮らすことを支える、なくてはならない仕事だ。市は訪問介護の役割をどのように認識し、どのように評価されているのか。訪問介護への思いを伺う。 (2)介護保険事業は、地方分権の柱の一つとして創設されたと私は認識している。一番身近な市が市内の介護保険事業所の状況をしっかり把握し、一緒になって考え、施策を講じるべき。今回、広域連合では、燃料費の支援の拡充があった。村上市のように、積極的に支援をされているところもあるので、雲南市においても独自色を発揮されることを期待するが、いかがか。 (1)これまで、育休になるとそのきょうだいが今まで標準時間であったのが、短時間保育になってしまうことについて、標準時間のまま使えるようにならないかという保護者の方のニーズについて訴えてきた。今回、子育て支援事業所の現場の考えについて聞き取りを行った。育休中について、保護者の大変さは分かるが、やはり自分達は子どもの立場、子どもの視点で考えているということ。育休中だと、親が家にいることが分かるので、なぜ自分だけ出かけないといけないのか、なぜ早く迎えに来てくれないのか、不安になること。また赤ちゃんが生まれたことで不安定になる子もいること。標準時間だと11時間も頑張っている、8時間でも子どもは大変だと思う。家で安心して過ごすことでまた次の日頑張ろうと思えると思う。自	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				分達、職員では補えないもの、親でなければできないことがある。子ども視点での話をたくさんいただいた。ただ、親の大変さも分かるので、折衷案が何かあると良いですねという言葉も多く聞いた。そうした中でいくつか提案やこれならできるといった意見もあったので、提案する。 ①赤ちゃんの首がすわるまで、(子どもによって差はあるが、3～5ヶ月で首がすわるので)半年間は標準保育も使えるようにしてはどうか。 ②短時間である8時間は変えずに、始まりの時間を保護者の出勤などに合わせて決めることはできないか。 ③育休をとって、未就学のきょうだいが短時間保育になった場合は、小学生は児童クラブが使えるなど柔軟な対応はできないか伺う。 ④本当にそのようなニーズが多いかどうか、保護者にアンケートしてみてもという提案もあった。市では、「第3期雲南市子ども子育て支援計画」策定に係るニーズ調査を実施されており、直近の調査の自由記述をみると「延長の利用料が高い」、「短時間保育をなくして欲しい」、「育休取得時の利用時間の短縮は困る」などあった。この結果について、育休中の保護者のニーズについて市の見解を伺う。 ⑤園によっては、短時間保育の迎えのあとに、子育て支援センターを親子きょうだいでうまく利用されているところもあると聞いた。親子の居場所がたくさんあって、選べるのは大切と提案があった。子育て支援センターのそのような利用の仕方について広めていくと良いと思う。育休前にきょうだいがおられる親にはそのような情報提供を積極的にすると良いと思うがいかがか。	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				⑥保護者、現場の職員の話を聞くと、私が感じる折衷案として、標準時間にしておいて、育休中の保護者の方が、一日のうちに途中 3 時間、一番余裕がある時間に、赤ちゃんも連れてきて、施設で一緒に過ごせる制度をつくってはどうか。 ⑦前述のニーズ調査結果の中で、職場環境の改善についての声もたくさんあがっていた。子育てしやすい職場について、市の施策としても、部局をこえて市内事業所の方と一緒にになって取り組む必要があると思うが、市の考えを伺う。 (2) 事業所をまわっていると、保育以外の業務の大変さも分かった。特に、子どもが少ないところは、PTA の人数も少なく、環境整備が大変であるとのことだった。地域の方のボランティアもあるが、高齢化で、暑い時期の草刈りを依頼するのも躊躇するとのこと。除雪も大変な様子。PTA の数が多いところでも、ちょっとした相談ができる、学校の校務技師のような方がおられると良いと思うが、市全体で 1~2 人そういった方を雇って、各施設をまわるなどできないか伺う。	
4	5	石原 忍 (一問一答)	1. 市長所信表明について 2. 医療提供体制の充実・強化について	(1) 市長所信表明について 令和 6 年 3 月定例会の所信表明においては、「行政経営」についての項目で実施計画及び中期財政計画についてと組織の見直しについて述べておられるが、今定例会における所信表明では実施計画及び中期財政計画については述べておられない。特に行政経営の根本である中期財政計画について、今回なぜ触れられなかったのか伺う。 (1) 医療従事者の処遇改善について 地域における医療従事者の不足は長期に渡って深刻な状況が続いて	

[illegible]

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				ることや、放課後児童クラブの体制強化など充実に努めている。この子育て支援策について更なる充実を図るため、保育料を無償化するなど思い切った子育て世代の負担軽減を図る施策を打ち出してはどうかと考えるが、市長の見解を伺う。 (2)出産にかかる更なる支援について 令和7年度予算において、妊婦のための支援給付金が新設され、妊娠期からの切れ目のない支援を行うとされた。非常に良い支援策だと思っているが、この妊婦に対する支援策についても妊婦健診に係る経費を全額助成するなど、子どもを産み育てる世代への財政的支援の更なる充実を図ってはどうかと考えるが、市長の見解を伺う。	
5	2	原 良太 (一問一答)	1. 農地管理の新組織について 2. 木次中学校の改築について	市長は、新聞紙上において、「2期目の早い段階で担い手が見つからない農地を管理する組織を市主導でつくりたい。」と述べられたが、その新組織について伺う。 (1)具体的な運営主体(例えば株式会社でいえば出資者である株主)となるのは誰であり、どのような財源(株式会社で言えば株主からの出資)を以て、どのような具体的な事業を行うことを想定した組織なのか。 (2)既存の農業法人や農地中間管理機構などとの違いは何か。 (3)現時点で判明している、新組織立ち上げの前に立ちはだかる諸課題は何か。また、組織立ち上げに向け、何らかの調査研究等を進めているのか。 木次中学校建替えに向けて示された『基本理念および施設整備方針(素案)』等について伺う。 (1)R10年に想定される228人の生徒数は、R25年には108人と僅か	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 歴史的資料などの収集と保管について	15 年で半分以下となる推計が出ている。これは木次中学校に限らず、市内全域でも同様に生徒数が減っていくことが想定されるが、木次中学校の改築計画にあたり、例えば市内のその他の中学校等との統合等の話は出なかったのか。またその必要性はないのか。 (2) 計画へは、児童、生徒、教職員、保護者、地域住民へ実施したアンケートにおいて回答多数のものを特に大切な点として反映させる旨と、回答が多数でないものであっても重要であるものは計画に反映させる、とされた。アンケート結果では少数意見ではあったものの計画にあたり市が重要と考えるものは何か。 (3) 施設整備方針において、「地域利用を念頭にした学校計画」とあるが、具体的な地域住民による利用方法はどのようなものを想定しているのか。 R7 年度において拡充される文化財活用事業において『雲南市ふるさと文庫』や『中世雲南市域関係史料集』等が、今後の本市の文化財行政を担う基礎資料となるべく刊行されるが、本市における文化や歴史の評価について伺う。 (1) 刊行は様々な資料の調査研究に基づかれるものであると認識するが、それらの資料は誰がどこに保存・保管されていたものを基にされているのか。 (2) そもそも雲南市の“歴史”や“文化”を、市はどのように評価をしておられ、市政運営においてどのように位置づけ(どのように市政運営に反映されるのか。)をしているのか伺う。 (3) 雲南市の歴史を語る資料は、一般の家庭に保管されているものも沢山あると考える。これまで市へ寄附をしたい旨などが申し出られ	

[illegible]

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			について 3. 学校給食について 4. 雲南市の財政について	(1)各事業者の経営状況は把握しているのか。今後、少子化に向けた事業者支援・連携計画の考えを伺う。 (2)雲南市は、女性の働き場を確保するため事務系や IT 企業の誘致を進めるとしている。企業誘致と並行して、今、市内にある事業所に対して女性採用力アップ支援を行う計画はあるのか伺う。 (3)他の町では、市外から転入した女性に家賃補助をする制度を設けているが、その支援について見解を伺う。 食品価格が急騰しているが、学校給食への影響について伺う。 (1)給食費の値上げの可能性はあるのか。 (2)学校給食の地産地消率は上昇しているのか。 市民の安心安全を確保するためには、安定した雲南市の財政が不可欠。しかし、今回示された中期財政計画では、令和 11 年度に実質公債費比率が 17.9%と示された。 (1)18%を超えた場合、雲南市に何が起こるのか伺う。 (2)今後の公共投資を行うにあたり市民に対して、雲南市の財政状況、実質公債費比率が悪化することは説明しているのか。 (3)総合センターが、各町にある。コスト削減を考えると、廃止も考える必要があると思うが、見解を伺う。ただし、本庁舎から遠い所、交通手段等を持たない方への配慮は必要である。 (4)実質公債費比率 15%以内を目標とした財政健全化策として、市長の見解を伺う。	
8	3	吾郷 希穂 (一問一答)	1. 子育て環境「保育所・こども園」について	(1)雲南市は 3 年連続「住みたい田舎ランキング」全国第一位に輝いた。子育て世帯部門でも中国地方で第 2 位に選ばれた。子育てに手厚いと評価された取り組みはどんなものか伺う。	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 農業の現状について	(2) 少子化といわれる中で雲南省のエリアは広く、よりしっかりとした対策が早急に求められる。右にならえの対策では15年後の未来は不安が多い。子どもは私たちの未来であり、子育て層が心配なく出産育児に向かうことのできる環境づくりがあり、雲南省の未来が続いていく。今後どのような施策を進めていくのかを伺う。 (3) 認可保育所・認定こども園利用に際し育児休業期間中のルールに特例利用があり、「保育所等入所中の子どもが同じ施設を継続して利用する場合に限られ、転園は出来ない。」とある。また「原則、年度途中の別の保育所への転園はできない。」とあるのはどういうことか伺う。 生きる事は食べる事。誰であっても食べなければ体を維持していく事が出来ず、亡くなられる。至極当然のことだが当たり前すぎて忘れがちな根本的事実である。農林水産省は食料供給困難事態対策法を成立し令和7年4月1日に施行予定だとしており、特定食糧・特定資材について、出荷販売の調整、輸入の促進、生産の促進。などの供給確保の取り組みを要請するとしている。異常気象、夏の暑さによる被害や輸入肥料の高騰等、幅広い事柄から雲南省でも被害が及んでおり、農業、畜産業や消費者への影響は大きい。 (1) 不測時に必要な食料を確保する対策は必要であるが、雲南省の食料自給率と、農業従事者(専業販売農家・自給的農家)数はいかほどか伺う。 (2) 農業従事者の所得向上の取り組みとして農林水産省、みどりの食料システム戦略 環境負荷低減事業があるが雲南省では検討、採用されたか。	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 健康維持への取 組みについて	(3)環境保全型農業に取り組み、有機農業を地域ぐるみで広めていく事で付加価値を高め、農家の収入向上を図り、消費者の多様なニーズに対応する産地を目指す取り組みが全国で始まっている。交付金があり生産→流通→消費をつなぎ、収入向上だけでなく労働力不足や次世代の人材育成確保にも前向きな取り組みができる。出雲市では「出雲市環境にやさしい農業研究会」が発足し出雲市、島根県、JAしまね、農業者を構成員として取り組みが始まっている。雲南市内にある資源を最大限活用し農家の収入を上げる。それが今後の市の財源を増やすことだが、この緑の食料システムの有機農業推進総合対策事業を採用するつもりがあるか伺う。 異例の事態 covid19 の波が治まり平和な日常が戻ってきた昨今であるが緊急事態宣言以降雲南市の対応、対策はどうであったか。 (1) コロナ緊急事態宣言が解かれた後しばらく経っても公的な場の職員はマスク着用を義務付けられていたと見聞きする。学校や幼稚園、保育園でもマスク着用を当面言われていた。そもそも本当にマスクの効果はあったのか。マスクをする、しない。ワクチンを打つ。打たない。こういった事は各自の判断で、それにより差別や偏見があってはいけないと思うが、それについてどうか伺う。 (2) コロナワクチン接種は 2024 年度、日本全体で何回接種されたのか。また雲南市では何回接種されたか伺う。 (3) ワクチンの健康被害がある。雲南市内ではどうか伺う。	
9	11	安田 栄太 (一問一答)	1. 大東高校の寄宿 舎について	令和 6 年 3 月に空き家を活用した大東高校の寄宿舎を整備されたが、令和 7 年度の利用希望者が寄宿舎の定員より多くなる見込みとなった。これを受けて、本市の定住促進賃貸住宅グランデ大東 95 の	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 市内の公園について	空き室を改修して寄宿舍を拡充することになった。 (1) 本年 4 月の供用開始に改修工事が間に合うのか。 (2) 運営を業務委託としているが、運営受託者は決定したのか。 (3) 寄宿舍の利用希望者が予想よりも上回った要因は何か。 (4) 令和 8 年度以降に寄宿舍の不足が予想されるが、今後の住環境確保等に対する見解は。 (1) 令和 2 年 12 月定例会一般質問の公園等の遊具の修繕についての回答で、予算の範囲内で順次修繕、撤去、更新等を行うとされた。 ①ロープのワイヤーが剥き出しになっていたり、ネットが破れていたり、比較的軽微と思われる破損の修繕がなされていないものがある。修繕の優先順位の付け方について所見を伺う。 ②撤去と判断した遊具の撤去は進んでいるのか。また、新たな遊具等の設置の考えはあるか。 (2) 丸子山公園の整備が不十分だとの声を聞いた。 ①ちびっ子広場の斜面が崩れて危険な状態になっているが、対応する考えはないか。 ②公園内の階段が歪んだり欠けたりしている。改修等の計画はあるか。 (3) 近年、家族としてのペットの地位が確立されるなか、利用の少ない農村公園等を多様な活用に対応し、新たな価値を創造するため公園をドッグランに造りかえたり併設してはどうか。	
			3. 第 3 次雲南市産業振興ビジョンについて	令和 7 年度から 10 年間の本市の産業振興の指針となる第 3 次雲南市産業振興ビジョン(案)が示された。基本方針に基づいて実施する重点施策について伺う。	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			4. 行財政改革につ	(1) 地域内経済循環の推進について。 ①地域内のBtoBを基本とした商品開発と販路拡大の支援に取り組むとされ、優れた商品や取り組みを認定するとある。付加価値を持たせるためのブランドを立ち上げるのか。 ②市内での消費喚起として地域通貨の調査、研究、導入とあるが、地域通貨の導入は実現できる見込みがあるのか。 (2) 市内事業者の経営基盤強化に向けた支援について。 ①人材育成として仮称 ESUCO(えすこ)ユニバーシティを開講するとあるが、ESUCO(えすこ)ユニバーシティとは何か。 ②デジタル化・DX の推進支援として、関係団体と連携した事業所への支援とあるが、関係団体とは具体的に何か。 ③不足するデジタル人材を複数の事業所が共有する仕組みを作ってはどうか。見解を伺う。 (3) 多様な企業の誘致とスタートアップ支援について。 ①神原企業団地の整備について、雲南加茂スマートインターチェンジへのアクセスの良さを強みとするなら、物流企業の誘致が最大限に強みを生かせるかと考えるが、見解を伺う。 (4) 中心市街地の魅力向上について。 ①コトリエットを中心とした三刀屋エリア、木次駅前エリアは、本市の顔となる場所と考える。近年、木次エリアでは若者が空き家を活用して起業する動きがある。若者を中心として中心市街地をチャレンジの場にするすることで、本市の中心市街地のさらなる魅力向上に寄与すると考えるが、見解を伺う。 中期財政計画が示され本市の財政は厳しさを増す見通しである。	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			いて	人口減少に伴う地方交付税の減額や公債費等の義務的経費の増額が見込まれ、健全財政を維持するために選択と集中による行財政改革を進めていく必要がある。 (1) どこに予算と人材を集中させ、目玉となる施策を打ち出していくのか。 (2) 人口減少対策と自主財源確保はどのようにしていくのか。	
10	4	福間 守 (一問一答)	1. 2 期目にかける 市長の思いにつ いて	石飛市政の 2 期目がスタート。今期にかける市長の思いを伺う。 (1) 第 3 次雲南市総合計画の初年度でもある令和 7 年度に ①特に力を入れて取り組む事業は何か伺う。 ②①の理由を伺う。 ③廃止した事業や大幅に縮小した事業があるか伺う。 ④③の内容を伺う。 (2) 行財政改革推進にあたって ①何のために行財政改革推進課を設置し行財政改革を進めるか伺う。 ②具体的な数値目標を伺う。 ③市民の共感を得る方策を伺う。 (3) 農業振興について ①耕作放棄地対策が急務。取り組みの内容を伺う。 ②農業の生産意欲を高めるための支援策について伺う。	
11	1	竹部 貴博 (一問一答)	1. 農林畜産業の振 興について	雲南市の農林畜産業は、地域経済や食の安全保障、次世代への食育にとって極めて重要な産業である。しかし現在、担い手不足や高齢化、気候変動、経営環境の悪化など、多くの課題を抱えており、持続可能な発展のためには抜本的な対策が必要である。	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				特に、若手の就農・就業者の減少により、農地や森林の管理放棄が進み、地域資源の有効活用が難しくなっている。また、燃料費・飼料費・肥料費の高騰が経営を圧迫し、畜産業ではメタンガス排出などの環境負荷への対応も求められている。さらに、輸入品との価格競争や販路拡大の課題もあり、行政と事業者がどのように連携し、産業振興を図れるかが問われている。 (1)商品のブランディングと消費拡大について ①市内事業者が主体的に取り組める仕組みを作るために市が果たす役割は何か、市長の見解を伺う。 ②現在、市内事業者が行っている食品副産物の飼料利用や廃材を活用した建物、脱炭素等の持続可能(サステナブル)な取り組み状況をどう認識しているか。 ③消費拡大には、地産地消にとどまらず、地産他消による国内外へ向けた展開が不可欠であり、海外の販売者が求めているのは、産地における行政が認定するサステナブルな取り組みである。サステナブル認証制度を導入する計画はあるか。 (2)担い手不足解消について ①学生のインターンシップの受入体制の強化が課題解決の一環として計画されているか伺う。 ②人材確保、育成においては、単なる現場体験にとどまらず、経営者としてのノウハウ習得を目的としたプログラムの導入が必要と考えるが、計画はあるのか。 ③移住、定住の促進において、ありのままの雲南市を体験できるようインターンシップや視察時に空き家を活用した短期滞在を可能に	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 行政視察受入体制の見直しと地域経済振興に資する新たな施策の導入について 3. 選挙の投票率の向上について	する体制が必要と考えるが、受入体制の状況と課題を伺う。 (1)行政視察を無償で受け入れている。また、視察者の市内滞在時間が短く、飲食・宿泊などの市内経済活動への波及が限定されている現状について、どのように評価しているのか。 (2)市内の特産品と視察資料をセットにしたパッケージを有料で提供する施策が、行政収益の拡大および地域経済振興に寄与すると考えるが、見解を伺う。 (3)行政視察を積極的に受け入れる事業者や施設のPRを強化し、視察者の市内滞在時間を延ばすことで、地域経済への波及効果を高める施策について、どのような具体策を検討しているのか。 本年1月19日に行われた雲南市長選挙の投票率は67.22%、前回の69.17%と比較し、1.95%低下した。昨年の市議会議員選挙の投票率も低下傾向にある状況は、市民の政治への関心が低下している要因だけでなく、投票の仕組み自体が現代のライフスタイルに合っていないことも一因として考えられる。 (1)DX(デジタルトランスフォーメーション)技術を活用し、インターネット投票、投票専用アプリなどを導入することで、時間や場所に囚われず投票が行えるなどの利便性や、若者も参加しやすく投票率の向上が期待できる。また、運営費用の削減、職員の負担軽減、透明性の向上などあらゆる面で効率性を高める第一歩だと注目されている。12月定例会において、DX化の推進に関する調査、研究を進めるとのことだったが、進捗状況を伺う。 (2)山間地にお住まいの高齢者や、障がいがある方にとって、家から出ることや公共交通機関の利用が困難で、投票を諦めざるを得ない	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			4. 島根かみあり国民スポーツ大会に係る進捗について	方も少なくない。また、若者の投票率が低い傾向にある。投票所に行くことが難しい方のために移動期日前投票所の設置、若者の投票を促すために商業施設や学校に期日前投票所を設置する必要があると考える。12月定例会において、デマンドタクシーの周知を更に進めること、他の地域の優れた事例を基に取り入れていくとのことだったが、市長選における評価と具体策を検討しているのか。 2030年に開催される国スポにおいて雲南市が会場となるソフトボール及びレスリング競技の運営、会場整備ならびに選手強化に関して、下記の事項について、現状の進捗状況及び今後の計画について伺う。 (1) ソフトボール・レスリング施設の整備状況、施工スケジュール等、具体的な進捗は。 (2) 大会運営に関わる各競技関係者(競技団体、指導者、選手団体等)との連携状況、今後の計画は。 (3) ソフトボール及びレスリングの指導者の確保及び育成において、現状の人員状況並びに育成プログラムの概要は。 (4) 大会に向けた選手確保について、地元クラブ、学校、スポーツ団体等との連携状況や育成プログラムの実施状況、ならびに現状の選手確保の成果と課題は。 (5) 大会運営並びに地域経済に波及効果をもたらすために地元業者や経済団体との連携状況は。	
12	13	上代 和美 (一問一答)	1. 雪害対策について	(1) 除雪困難世帯、また、除雪困難世帯に訪問しなければならない介護事業者等にとって木戸道の除雪は頭を抱える問題になっている。介護にかかわる職員からは事前にどんな除雪支援(ボランティアグ	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 訪問介護事業者 への支援について	ループ、有償ボランティアなど)があるのか周知してほしいとの声を聞いた。市内での除雪支援の周知ができないか伺う。 (2) 雪害対策特に除雪困難世帯に対しての除雪は、地域自主組織や自治会、民生委員など地域の協力が不可欠である。除雪が必要かどうか、個別の声かけを降雪シーズン前に自治会などで把握しておく体制が必要ではないか。市として体制構築のリードをすることが必要ではないか。 (1) 昨年 4 月訪問介護の基本報酬が引き下げられてから 1 年近くなる。市内の訪問介護事業所からは厳しい経営実態を聞いているが、市としてどのように把握しているか伺う。 (2) 12 月議会市長答弁では「サービスを維持していくために引き続き検討したい」と述べられた。事業所が継続できる支援は検討されたのか伺う。 (3) 新潟県村上市では報酬引き下げによる減収分を 2024 年 4 月の改定時にさかのぼって独自に事業所への補助を行うことを決め支援に踏み出している。事業所の経営努力はすでに限界にきている。国・県へ声をあげるとともに、市として緊急に支援に踏み出すべきではないか。市長の見解を伺う。	
			3. 紙の保険証廃止 後の対応について	(1) 昨年 12 月 2 日から保険証が廃止された。これまでどおり安心して受診が円滑に行われるためには市民に対し制度の丁寧な周知が必要である。 ① 今までの保険証は 2025 年 7 月 31 日まで有効で、それ以降は申請なしで「資格確認書」が発行され、これまでの保険証と同じ使い方であるが、それ以降も申請なしで発行されるのか。	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			4. 学校の教員不足について	②マイナ保険証の有効期限は各自それぞれで、国からの期限切れ通知があった後、更新申請をしなければならないが、申請忘れなどで不具合は生じないか。 ③滞納世帯への短期保険証も廃止となった。短期保険証は滞納世帯への救済策の役割もあった。これまで通り滞納世帯であっても医療が必要な世帯への配慮が必要である。どのような対応をされるのか。 (1) 毎年のように「先生が足りない」「退職した高齢の元教員にも代替えの声がかかる」と聞く、全国的にも教員不足で「このままでは学校がもたない」と大きな問題になっているが、市内小中学校の今年度の状況、新学期の状況はどうなっているか伺う。 (2) 「こどもと向き合う時間がない」「教材研究、授業の準備時間がない」と聞くが、教職員の労働実態、時間外労働など教育委員会は把握されているか。またそれについての教育長の所感は。 (3) 今通常国会で教員給与特別措置法(給特法)が審議されると聞く。国は現在の教職調整額 4%か 10%引き上げの方向を出しているが、今の現場の悲痛な声の根本的な解決にはならないし、現場の願いとはズレている。教員不足がなぜここまで深刻になっているのか。根本的解決にはどうするべきか。教育長の見解を伺う。	
13	9	高橋 美佐子 (一問一答)	1. 児童・生徒への貸与タブレットの管理について	全国的に小中学校の児童・生徒の学力低下が指摘されているが、これはゲーム機や携帯電話に加え学校から貸与されるタブレット等による動画配信漬けになっていることが考えられる。 ゲーム機や携帯電話は親が管理できるが、学校から貸与されたタブレットはそうもいかない。 そこでタブレットは原則として学校に置くこととし、タブレットが	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 幼稚園・小学校の遊具等の管理について 3. 生活道路の整備について 4. 道路面の木の枝や竹等の除伐について	必要な宿題があるときのみ、持ち帰らせることとしてはどうか、見解を伺う。 幼稚園・小学校に設置してある遊具等が老朽化し使用できなくなっても、修理も撤去もにないまま「使用禁止」とあるだけで、そのままにしてある例が散見される。また、昔あった遊具が撤去され種類もかなり減ってきているように思われるが、これら遊具についての見解を伺う。 雲南市内においても、幹線道路は近年整備されつつあるが、山間部の生活道路について手つかずの状態であり、非常に狭く回転場もなく、出入りに苦勞されている状況です。さらに救急車や消防車が入れないところも多く、住民の方は不安をかかえている。生活道路は地域住民にとっては、最も重要な道路であり、若者の定住を考えるうえでも重要な課題である。これら対象となる路線は大変多く、整備費も莫大なものとなることから、短期間で整備することは困難であることは承知するが、国や県の力も借りながら、少しずつでも取り組まなければならない課題であると思うが、見解を伺う。 山間部の道路は山の斜面も近く、木の枝や雑草が通行の妨げとなっているところも多い状況である。さらに雪が積もればかなり高いところに生えている竹でも大きくしなだれて、通行や除雪の妨げとなっている。本来、地主が除、除草の対応を行うべきところであるが、その対応すらできない高齢者世帯も増えてきている。そのような状況に市として対応する手立てはないものか、見解を伺う。	
14	7	渡辺 重光 (一問一答)	1. 指定管理者制度について	(1) 公の施設に対する指定管理者制度の意義及び目的について伺う。 (2) 指定管理料ゼロ円の施設があるが、具体的にはどういったものが	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 雲南市民バス停の場所変更について 3. 街路灯の維持管理について	あるのか、またその主旨及び意義について伺う。 (3)産直施設「グリーン掛合」は、ゼロ円指定管理となっている。零細農家の貴重な現金収入の場となっているが、松江道の開通以来、R54 号の大幅な交通量減少等に伴い、販売額が減少し厳しい経営状況となり、今や存続自体が危ぶまれる状況となっている。 ①運営する青空市協議会からは、これまで度々、市に対し指定管理料の交付を要望されているがゼロ回答と聞いている。改めてこれに対する見解を伺う。 ②ゼロ円指定と言う区分を、指定管理料を払える区分に変更することは出来ないのか伺う。 ③厳しい経営状況に鑑み、「管理委託」という方法はできないのか伺う。 ④水田園芸も推進される中、周辺地域の小農業を守るため、グリーン掛合は、販売施設としての大きな役割を果たしている。今後、市として「グリーン掛合」に、どう対応していかれるのか見解を伺う。 (1)掛合の「掛合の里」バス停は、現在 R54 号の両側に設置されているが、上り車線側には悪天候でも屋根のある施設もなく、下り車線への移動は道路を横切らなければならないが、特に高齢者にとっては、危険な状況となっている。このため、道の駅舎前に乗り入れるルートに変更して貰いたいとの要望が多いが、対応できないのか伺う。 (1)合併前の掛合町時代に設置された街路灯には、相当の経過年数を経て危険な状態のものがある。その維持管理、修繕あるいは撤去等の管理責任はどこにあるのか伺う。	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
15	15	中村 辰眞 (一問一答)	1. 障がい者及び生活弱者を取り巻く環境について 2. 戦後 80 年について	(1)障がい者スポーツについて 本年 3 月 8 日からイタリアのトリノで開催される「スペシャルオリンピック冬季世界大会」に出雲養護学校雲南分教室の生徒が出場する。障がい者スポーツに積極的に取り組んでいる本市としても全力で応援したいものである。障がい者スポーツの世界で活躍するアスリートに対して、市長の激励の言を伺う。 (2)手話言語条例の制定について 来年度の健康福祉部の部局運営方針に「手話言語及びコミュニケーション促進条例」の制定が示された。11 月 15 日から 26 日まで東京 2025 デフリンピック大会が開催される。これを機に県内でも手話言語条例が制定されている。本市が目指す条例は言語とコミュニケーションを合わせる形である。合わせることの思いを伺う。 本年は先の大戦後 80 年にあたる。多くの犠牲を出し、歴史上初めてとなる原子爆弾が戦争の名のもとに使用されたのも周知である。その原爆で被爆し命を懸けて民衆救済にあたられた永井隆博士のゆかりの地である本市として証言集の作成を求めてきた。 (1)本市における証言集に関して 5 年前の答弁では「市としても、実現に向けて検討してきたが、このたび雲南市の遺族会の方々が 75 年史の証言集をとということで、これが完成し、今年の 1 月に出版された。この証言集は小・中学校にも御寄贈いただいている。雲南市としては、この証言集を今後、学校教育、社会教育におきましての平和学習の教材としていく考えです。(要旨)」であった。遺族会のご苦勞に対しては敬意を表するが、本市が独自に作成したものとセットで語り継ぐことも大切と考える。木次町にあった寺領国民学校が	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 市役所及び市立病院の施設利用について 4. 市政への提案箱に関して	浜田陸軍病院の分院であったということで、木次線を使い広島の原爆による負傷者がたくさん運ばれてきた記録はあるが、記憶が残り少なくなっているのも現実である。市民の皆さんから戦中戦後の体験や親から聞いた体験などを募集し作成する最後のチャンスと考えるが見解を伺う。 (2) 毎年8月9日11時2分に永井記念館では館長さんとスタッフの方が長崎の式典に合わせ黙祷を行っている。近年私も邪魔にならないように参加している。公務の関係もあるが市長も参加してはどうか見解を伺う。 市役所には収容人数の大きい場所がある。市立病院には一般の方が立ち入れない場所や収容人数の大きい場所がある。これらの使用について質問をする。 (1) 市役所の一部においては、貸館が可能となっている。一般市民が利用可能とされ条例で定めがある部分以外については、一般市民の利用ができないと認識しているが、職員以外の使用は可能なのか伺う。 (2) これらの施設の管理は誰が行うのか伺う。(市役所・市立病院) (3) 地方公務員法第36条2項の4に抵触する行為の有無について伺う。(市役所・市立病院) (4) 管理職、非管理職に対する懲戒規定の有無とこれらにかかる条例等の有無について伺う。 (1) 市役所入口に市政への提案箱がある。意見を聞こうとする姿勢は素晴らしいと思うが現在の場所では人の目が気になり書くことを躊躇するとの声があった。わかりやすく人目を気にしない方法はない	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				ものか見解を伺う。 (2) 投稿された意見への返信はどのようなになっているか。 (3) 意見の内容を市民が知ることも大切ではないかと考える。個人情報を除いたうえで意見と回答を市役所の一角に掲示できないか所感を伺う。	